

2026年5月26日

静岡市葵区鷹匠一丁目1番1号  
静岡鉄道株式会社

## 静鉄グループ 2026年3月期 連結決算概況について

売上高2期連続・当期純利益3期連続 過去最高を更新

### ◇連結決算概況

当連結会計年度においては、自動車販売事業における新車販売台数増加や、大阪・関西万博の開催等に伴う観光需要の増加によりビジネスホテル事業の稼働率および客室単価が増加したこと、また新静岡セノバの館内売上が過去最高となったことなどから、当会計年度における売上高は増加し、営業収益は1,902億2千5百万円(前期比3.4%増)となりました。

利益面では、処遇改善や最低賃金上昇に伴う人件費増加影響や金利上昇による支払利息の増加などもあり、営業利益は54億8千5百万円(前期比0.5%減)、経常利益は50億8千9百万円(前期比2.4%減)となりました。一方で、固定資産売却益等により当期純利益におきましては、45億9千3百万円(前期比5.4%増)となりました。

なお、営業収益および当期純利益において、連結決算の過去最高を更新しました。

### ◇2027年3月期の見通し

2027年3月期の業績予測につきましては、自動車販売事業の新車販売が好調であった前期との反動減に加え、ビジネスホテル事業における万博開催に伴う特需のあった前期との反動減や「静鉄ホテルプレジオ静岡駅北」の改修工事実施に伴う減収見込みにより、営業収益は1,856億5千4百万円(前期比:2.4%減)を見込んでおります。

利益面では、投資の増加に伴う減価償却費の増加、処遇改善等に伴う人件費の増加、エネルギー関連費用の増加など、コスト増となる事業環境を考慮した見通しとなります。

その結果、営業利益は34億5千9百万円(前期比:36.9%減)、金利の上昇に伴う支払利息の増加等により経常利益は25億4千6百万円(前期比:50.0%減)、当期純利益は22億7千2百万円(前期比:50.5%減)を見込んでおります。

なお、本年度よりスタートする中期経営計画においては、上記の通り事業環境の変化を織り込みながらも、静鉄グループの長期目標として据える「SOCIAL GOOD COMPANY」の実現を目指し、課題の解決に取り組んでまいります。

当社グループは、今後もお客様に安全・安心・快適をお届けする為の取り組みをグループ全体で推進するとともに、生活ニーズの多様化に応える事業活動を実施してまいります。

※なお、当業績予測は中東情勢の影響により変動する可能性があります。

### <添付資料>

- ・静鉄グループ 2025年度 事業セグメント別概況
- ・静鉄グループ 2025年度 連結決算指標

この件のお問い合わせは下記へお願いいたします

#### 経営管理部

□グループ事業課:古川(ふるかわ)、本多(ほんた)  
□直通電話:(054)254-5116  
□F A X:(054)273-0658  
□Eメール:group@shizutetsu.co.jp

#### 総務部

□総務課:大石(おおいし)、小島(おじま)  
□直通電話:(054)254-5129  
□F A X:(054)255-8816  
□Eメール:k.ojima@shizutetsu.co.jp

## 静鉄グループ 2026 年 3 月期 事業セグメント別概況

当社グループは、交通事業、流通事業、自動車販売事業、不動産事業、レジャー・サービス事業、建設事業の 6 つの事業セグメントで構成されています。事業セグメント別の概況は以下のとおりです。

### ・交通事業

交通事業の営業収益は、155 億 32 百万円(前期比 5.1%増)となりました。

鉄道事業では、2025 年 9 月から 3 ヶ月間にわたり、TV アニメとのコラボ企画第 2 弾を実施いたしました。前年度の好評を受け、本年度は鉄道・バス・索道・ホテルにおいて、より充実した各種施策を展開いたしました。また、2025 年 9 月から、沿線の「バンダイホビーセンター」新工場内ミュージアムの開業に合わせ、最寄り駅である長沼駅に、当社初となる副駅名「バンダイホビーセンター前」を設置するなど、沿線の活性化に努めました。輸送人員は 8,846 千人(前期比 2.3%増)となり、前期と比べて旅客運輸収入が増加しました。

索道事業の日本平ロープウェイでは、毎秋恒例の夜間特別拝観イベントをリニューアルした「国宝 久能山東照宮 夜間特別拝観 光彩-IRODORI」を開催いたしました。インバウンドやクルーズ船の団体客利用が好調に推移し、輸送人員は 716 千人(前期比 11.0%増)となりました。

乗合バス事業のしずてつジャストラインでは、大阪・関西万博開催に伴い、清水～吉田エリアから大阪・関西万博会場をダイレクトに結ぶ高速バスを 2025 年 4 月から毎日運行いたしました。また、2026 年 3 月に静岡県内初となる一般大型路線バスの約 1.5 倍の輸送力がある連節バスを導入し、2026 年 4 月より一部路線で運行を開始いたしました。前年度に実施した運賃改定の通期影響により、輸送人員は 27,265 千人(前期比△0.6%減)となりましたが、前期と比べて乗合運送収入は増加しました。

### ・流通事業

流通事業の営業収益は、490 億 21 百万円(前期比 1.4%増)となりました。

スーパーマーケット事業の静鉄ストアでは、お客様により楽しく快適なお買い物体験を提供するとともに、従業員の働きやすさ向上を図る取り組みとして、2025 年 7 月から、お客様がスマートフォンの専用アプリで商品バーコードを読み取り、支払いまで完結できるセルフレジシステム「ピピットセルフ」を一部店舗で導入いたしました。また 2026 年 1 月に小型店舗「KITE-GO 上足洗店」を開業したほか、販促強化や一品単価の上昇などにより、前期と比べて店舗売上が増加しました。

食堂売店事業の静鉄リテイリングでは、2025 年 12 月に、英国の港町を感じるテイクアウト&ショップの「ARTHUR CAFE KAMAKURA 清水河岸の市」・「同 鎌倉小町通り」を開業いたしました。また、静鉄ストアと共同で、2025 年 6 月に大阪・関西万博「EXPO メッセ WASSE」会場に出店し、地域産品の販路拡大に向け静岡の食文化の魅力を PR いたしました。またインバウンド需要の高まりから、観光売店やハンズ静岡店における売上が増加しました。

### ・自動車販売事業

自動車販売事業の営業収益は、983 億 25 百万円(前期比 7.5%増)となりました。

自動車販売事業のトヨタユナイテッド静岡では、2025 年 6 月に静岡県内のトヨタ販売店では初めての GR Garage となる「GR Garage 沼津」をグランドオープンいたしました。また 2025 年 7 月に試乗兼カーシェア専用スペースを新設した体験型店舗「浜松有玉店」をリニューアルオープンいたしました。さらに 2025 年 8 月に「レクサス静岡葵」をリニューアルオープンし、ご家族向けファミリールームを新設するなど、多くのお客様のニーズにお応えできる店舗に刷新いたしました。

新車販売台数は 16,740 台(前期比 6.3%増)となり、販売台数の増加などにより新車売上は増加いたしました。また、中古車販売台数は 10,642 台(前期比 14.0%増)となり、販売台数の増加および市場高騰による台当り単価の上昇により、中古車売上は増加いたしました。

自動車リース事業のトヨタレンタリース静岡では、店舗カウンターで実施する手続きを、専用端末にて簡単・スピーディーに実施することのできるセルフチェックインサービス「RaCCU」を拡充いたしました。車両の順次入替を進めたほか、レジャー需要の高まりなどにより、レンタカーの稼働率が前期に引き続き好調に推移したことで、レンタル売上は増加しました。また保有台数の増加により、前期と比べてリース売上が増加しました。

## ・不動産事業

不動産事業の営業収益は、131 億 28 百万円(前期比 1.3%減)となりました。

不動産販売事業では、新築建売住宅において「エバースクエア馬淵一丁目」全 5 棟ほか 6 物件が好評のうち完売いたしました。

不動産流通事業では、2026 年 1 月に水まわり住宅設備のショールームとして静岡市駿河区曲金に「静鉄不動産リフォームショールーム」を開業いたしました。

ショッピングセンター事業の静鉄プロパティマネジメントでは、新静岡セノバにおいて入館客数、買上客数および客単価のいずれも前年度を超える実績となり、館内売上は開業以来初の 200 億円を突破し、過去最高の 207 億円を達成いたしました。

## ・レジャー・サービス事業

レジャー・サービス事業の営業収益は、137 億 75 百万円(前期比 5.5%増)となりました。

ビジネスホテル事業では、大阪・関西万博の開催を受けた特需に加え、前期に引き続き県外施設を中心にインバウンド宿泊者の増加が見られ、客室稼働、単価ともに好調に推移しました。全施設合算した平均客室稼働率は 86.3%(前期比 2.2pt 増)となったほか、客室単価の上昇などにより、前期と比べて宿泊収入が増加しました。

ゴルフ事業の藤枝ゴルフクラブでは、2025 年 6 月に開場 50 周年を記念した「開場 50 周年イベント」を実施し、年間来場者数が 32 年ぶりに 6 万人を突破いたしました。

## ・建設事業

建設事業の営業収益は、75 億 32 百万円(前期比 11.3%減)となりました。

建設事業の静鉄建設では、由比地すべり対策施設設備工事などを施工いたしました。また清水港富士見受変電棟新築工事において、卓越した技術等に基づき優れた成績を収めた工事として、静岡県より「令和7年度静岡県優良建設工事財務部長表彰(営繕関係建築・設備工事)優良工事部門」を受賞いたしました。

## 2026年3月期 年度連結決算指標

### ◆連結決算概要

(単位: 百万円、%)

	2026年3月	2025年3月	前期比		2026年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業収益	190,225	183,895	6,329	3.4	185,654	△ 4,570	△ 2.4
営業利益	5,485	5,514	△ 28	△ 0.5	3,459	△ 2,026	△ 36.9
経常利益	5,089	5,212	△ 122	△ 2.4	2,546	△ 2,542	△ 50.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,593	4,357	235	5.4	2,272	△ 2,320	△ 50.5

### ◆セグメント別営業収益

(単位: 百万円、%)

	2026年3月	2025年3月	前期比		2026年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業収益	190,225	183,895	6,329	3.4	185,654	△ 4,570	△ 2.4
交通事業	15,532	14,777	754	5.1	15,603	71	0.5
流通事業	49,021	48,322	698	1.4	48,554	△ 466	△ 1.0
自動車販売事業	98,325	91,503	6,822	7.5	91,487	△ 6,837	△ 7.0
不動産事業	13,128	13,301	△ 172	△ 1.3	13,474	345	2.6
レジャー・サービス事業	13,775	13,055	720	5.5	12,762	△ 1,013	△ 7.4
建設事業	7,532	8,495	△ 963	△ 11.3	7,971	439	5.8
内部消去	△ 7,089	△ 5,559	△ 1,530	-	△ 4,199	2,890	-

### ◆セグメント別営業利益

(単位: 百万円、%)

	2026年3月	2025年3月	前期比		2026年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業利益	5,485	5,514	△ 28	△ 0.5	3,459	△ 2,026	△ 36.9
交通事業	△ 1,044	△ 1,004	△ 39	-	△ 1,355	△ 311	-
流通事業	494	430	64	15.0	453	△ 41	△ 8.3
自動車販売事業	4,302	4,126	175	4.3	3,063	△ 1,238	△ 28.8
不動産事業	873	1,000	△ 127	△ 12.7	626	△ 246	△ 28.2
レジャー・サービス事業	714	608	106	17.5	△ 45	△ 759	-
建設事業	302	370	△ 67	△ 18.1	162	△ 140	△ 46.3
内部消去	△ 158	△ 17	△ 140	-	553	711	-

※金額は百万円未満を切り捨て表示